

別表5 (第13条関係)

データ解析・シミュレーション融合スーパーコンピュータシステム利用負担金表 (Reedbush-U/H システム)

区 分		利 用 負 担 金 額
データ解析・シミュレーション融合スーパーコンピュータシステム	パーソナルコース	基本セット 【大学・公共機関等 150,000 円】
		トークン 17,280 ノード時間 (Reedbush-U ノード時間 2 ノード×360 日相当)
		並列実行ノード数 Reedbush-U 最大 16 ノードまで 4 ノードまで消費係数 1.00 4 ノード超のとき消費係数 2.00
		Reedbush-H 最大 32 ノードまで 1 ノードまで消費係数 2.50 1 ノード超のとき消費係数 5.00
		ディスク容量 並列ファイルシステム 1 TB
	一般申込	Reedbush-U/H セット 【大学・公共機関等 300,000 円】 (申込ノード数 4 ノード当たり)
		トークン 34,560 ノード時間 (Reedbush-U ノード時間 4 ノード×360 日相当)
		並列実行ノード数 Reedbush-U 申込ノード数まで消費係数 1.00 申込ノード数超のとき消費係数 2.00
		Reedbush-H 申込ノード数の 4 分の 1 まで消費係数 2.50 申込ノード数の 4 分の 1 超のとき消費係数 5.00
		ディスク容量 並列ファイルシステム グループにつき 4 TB (申込ノード数 4 ノード当たり)
グループコンピュータシステム	公募制度による申込 (要審査)	Reedbush-U セット 【大学・公共機関等 300,000 円, 企業 360,000 円】 (申込ノード数 4 ノード当たり)
		トークン 34,560 ノード時間 (Reedbush-U ノード時間 4 ノード×360 日相当)
		並列実行ノード数 Reedbush-U 申込ノード数まで消費係数 1.00 申込ノード数超のとき消費係数 2.00
		ディスク容量 並列ファイルシステム グループにつき 4 TB (申込ノード数 4 ノード当たり)
		利用登録番号数 制限なし
	公募制度による申込 (要審査)	Reedbush-H セット 【大学・公共機関等 180,000 円, 企業 216,000 円】 (申込ノード数 1 ノード当たり)
		トークン 21,600 ノード時間 (Reedbush-U ノード時間 1 ノード×360 日相当×2.5)
		並列実行ノード数 Reedbush-H 申込ノード数まで消費係数 2.50 申込ノード数超のとき消費係数 5.00
		ディスク容量 並列ファイルシステム グループにつき 4 TB (申込ノード数 1 ノード当たり)
		利用登録番号数 制限なし

	ノード固定 (要審査)	Reedbush-U セット 【大学・公共機関等 450,000 円, 企業 540,000 円】 (申込ノード数 4 ノード当たり)
		トークン 34,560 ノード時間 (Reedbush-U ノード時間 4 ノード×360 日相当)
		並列実行ノード数 Reedbush-U 申込ノード数まで消費係数 1.00 申込ノード数超のとき消費係数 2.00
		ディスク容量 並列ファイルシステム グループにつき 4 TB (申込ノード数 4 ノード当たり)
		利用登録番号数 制限なし
		Reedbush-H セット 【大学・公共機関等 270,000 円, 企業 324,000 円】 (申込ノード数 1 ノード当たり)
		トークン 21,600 ノード時間 (Reedbush-U ノード時間 1 ノード×360 日相当×2.5)
		並列実行ノード数 Reedbush-H 申込ノード数まで消費係数 2.50 申込ノード数超のとき消費係数 5.00
		ディスク容量 並列ファイルシステム グループにつき 4 TB (申込ノード数 1 ノード当たり)
		利用登録番号数 制限なし
	ディスク容量追加	並列ファイルシステム 1 TB につき 【6,480 円/年】
	トークン追加	パーソナルコース 【大学・公共機関等 12,500 円】 1,440 ノード時間 (Reedbush-U ノード時間 2 ノード×30 日相当) グループコース 【大学・公共機関等 25,000 円, 企業 30,000 円】 2,880 ノード時間 (Reedbush-U ノード時間 4 ノード×30 日相当)

(注) 上記の利用負担金額は総額表示である。

尚, 月数別利用負担金については別表 6 に定める。

#### 備考

- 「大学・公共機関等」は第 3 条第 1 号, 第 2 号, 第 3 号, 第 4 号, 第 6 号および第 8 号に該当する者に適用する
- 「企業」は第 3 条第 7 号に該当する者に適用する
- 利用期間については年度を超えないものとする
- トークンはジョブ実行ごとにノード時間積 (経過時間×ノード数×消費係数) を消費するものとし, トークン残量が無くなった場合には, ジョブ実行は抑止される。但し, 計算リソースの状況によって非優先ジョブの実行を許可するものとする
- 計算資源を予約する申込においては, 予約した期間およびノード数に相当するジョブ実行を行ったものとみなして, トークンを消費するものとする
- トークンは利用期間内に限り有効とし, 利用終了後にトークンの残量がある場合でも引継ぎおよび利用負担金の返還は行わない
- トークンとして付与したノード時間積は, 利用期間内に全量が使用できることを保証するものではない
- トークンの一部を他のスーパーコンピュータシステムへ移行することができる。移行元と移行先でのノード時間積および消費係数切替点の対応については 別表 9 に定める
- ノード固定は審査によって認められたノード数を占有利用できるものとする。但し, トークン残量が無くなった時点で占有は解除される
- ノード固定の申込は提供するノード数の 15% 程度まで受け付けるものとする
- 追加オプションは利用期間内に限り有効とする
- 追加オプションの負担金額は追加単位額に追加する資源量および利用期間を乗じたものとする
- 申込全体のノード時間積が提供可能なノード時間積の 1.2 倍を超えない場合に限り受け付けるものとする。但し, 企業, 若手・女性, 大規模 HPC チャレンジ等の公募制度による利用, 講義・講習会等の教育利用およびトライアルユース等の申込においてはこの限りでない
- 公募制度による申込の区分および利用負担金額は, 募集要項等により提供資源が限定される場合に適用する